



ふるさと納税寄附金 事業紹介

(平成24年度事業化分)

これまでに、みなさまからいただきました寄附金を、「ふるさと鳴門」づくりにつながる8事業に活用させていただきましたので、ご報告いたします。



★公立保育所地震防災対策事業

【充当寄附金額 305,000円】



2ヶ所の保育所に1台ずつ避難車を購入しました。災害時を想定した避難訓練を毎月1回行っており、乳幼児を避難車に乗せて走ったり歩いたりしています。乳幼児10人程度が乗れるため、日常においても、乳幼児等の移動手段として効率的に活用しています。



★鳴門市消防団安全装備品整備事業

【充当寄附金額604,000円】



大津波警報発令時における避難誘導、及び救助活動、また台風等の水防活動を行う際、消防団員の安全を確保するために、救命胴衣230着を購入し消防団員に配備しました。平成25年1月25日に行われた里浦地区津波避難訓練では、消防団員が救命胴衣を着用し、避難誘導を行いました。



★ビオトープ池改修事業

【充当寄附金額 54,000円】



「フクロウと子どもたちの森」の中にあるビオトープ池を、58年ぶりに鳴門市で再発見された絶滅危惧種のカワバタモロコやその他の生き物が暮らせて、みんなが自由に観察できるような池にするため、「じゃぶじゃぶ池づくり・いきものいっぱいプロジェクト」として、小学生とその保護者に参加してもらい、周辺のいきもの調べや池の設計図づくり、池の改修を実施し、カワバタモロコ約1千匹を放流しました。カワバタモロコはビオトープ池で育成、増殖させ、環境学習にも活用していきます。



★重要文化財「福永家住宅」事業

【充当寄附金額 315,000円】



「福永家住宅」の敷地出入口にある門扉が老朽化していたため、改修しました。また、敷地へ下る階段部分に仮設式のスロープ台を設置しました。これにより、敷地の防犯対策や出入りに関する安全性・利便性が向上しました。



★なると海のブランド拡大PR事業

【充当寄附金額 401,000円】



大阪府の料理店の協力を得て、10月中旬に鳴門鯛、1月下旬に鳴門わかめを使った料理の提供を実施した。PR期間中は、ポスターやチラシの店内展示やPR用お品書きの料理への添付などを併せて行い、宣伝効果を高めるよう努めた。1月24日、3月16日には市長トップセールスを実施し、鳴門わかめのPRを行った。



★鳴門観光PRカーを活用した観光振興事業

【充当寄附金額 1,134,000円】



観光キャンペーンや県外出張等にご利用することで、広く観光PRを行うため、鳴門の「渦潮」やぼく「鳴門市マスコットキャラクター『うずしおくん』」などをラッピングした観光PRカーを2台製作しました。また既存の公用車に「鳴門海峡を世界遺産に!」とラッピング。市内を循環し、鳴門海峡世界遺産化に向けた市民の機運醸成を図っていきます。



★「第九」ブランド化推進事業

【充当寄附金額 30,000円】



鳴門市の財産である「第九」アジア・日本初演の歴史をブランド化し、この魅力を市内外に広く発信させるため、「第九」が初演されてから現在にいたるまでを20分にまとめた『「第九」の里なると』DVDを100枚増刷しました。今後、市内小中学校への配布等を行い、ブランド化推進に努めていきます。



★マスコットキャラクター「うずしおくん」 パートナー募集事業

【充当寄附金額 1,425,000円】



男女共同参画のより一層の推進とその気運を高めるとともに、鳴門の魅力をさらに効果的に市内外に情報発信するため、ぼく『市のマスコットキャラクター「うずしおくん」』のパートナーとなるキャラクターのデザイン投票及び名称募集を市民等を対象に実施しました。

投票の結果、最も投票数の多かったキャラクターをパートナーに決定し、応募のあった愛称のなかから「うずひめちゃん」と命名し、市が実施する各種事業のチラシなど、キャラクターの活用を進めています。

また、「うずしおくん」と「うずひめちゃん」の着ぐるみを新たに制作し、市内外のイベント等において積極的な活用を図り、鳴門の魅力の情報発信強化に努めています。



みなさまからのたくさんのご支援に、心から感謝しご報告申し上げます。